

平成20年度 第2回 西木地域審議会会議録

一、日 時 平成20年12月1日（月）午後2時

一、場 所 「西木総合開発センター 集会室」

一、会議に出席した委員

門 脇 彰 一	門 脇 トキヨ	武 藤 晟 平	佐 藤 雄 孝
小 林 康次郎	澤 山 純 一	鈴 木 定 平	大 澤 博 公
鈴 木 重 蔵	浅 利 重 昭	山 田 佳 穂	中 村 清 春
門 脇 光 郎			

一、会議を欠席した委員

小 林 清 司

一、会議に出席した職員

西木地域センター長	加 藤 義 規
企画政策課長	高 橋 新 子
総合窓口課長	新 山 敦 晃
企画政策課主査	阿 部 聡
総合窓口課主査	戸 村 和 子

一、会議次第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事

西木地域審議会を取り上げるべき課題の抽出について

- 4 閉 会

一、総合窓口課長が開会宣言

(午後2時)

一、門脇（彰）会長あいさつ

一言ご挨拶します。私は地域審議会は初めてであります、前年度の審議会定住人口3万人の確保という目標もあるようですが、西木地域を見渡したときにどうしたらよいかというところから審議したいと思います。今日は西木地域の取り上げるべき課題を決めたいと思います。前年度から引き続き

委員をされている方もいますから、ご協力を得ながら進めたいと思います。

一、議 事

一、門脇（彰）会長

西木地域審議会で取り上げるべき課題についてを議題とします。

一、佐藤委員

地域審議会を設置して何回か審議・討議しているがこの設置目的はなんですか。私なりに考えてはいるが、当局はどんな目的をもって設置したか説明が欲しい。

一、高橋企画政策課長

角館、田沢湖、西木の合併によって極端な地域格差が生じないように設置した。

一、佐藤委員

合併協議会にも参加しましたが、3町村対等合併したわけだが、その中に各町村の新市における建設計画があり、それに基づいて新市の行政運営をしていく合意のもとで新市が発足したが、各町村の住民の要望等を含めた建設計画があり、その進捗状況、履行またそれを検証する役目のある地域審議会と思う。旧西木村で合併前に実施計画を作成し合併協議会で合意いただいて、新市が発足してからその建設計画の中で年度毎の政策として、予算で実行されたハード・ソフト事業を含めてどのようなものがあるか。

一、高橋企画政策課長

合併する際に、新市建設計画を立てたがそれを基に合併後の仙北市の総合計画を作り、それが10年後の市がめざす方向的なものを示している。これに基づいて基本計画、実施計画がある。実際に何をどれだけの予算をつけてやっていくのかという3年間のローリング方式の実施計画がある。今、新市になった時作成した建設計画の中の実施計画で何がどのように実行されているか、具体的にどの事業がどこに位置づけされているのか、今日資料を持ってきていないので具体的に説明できない。ハード・ソフトの事業をどれだけの予算をつけてやったか、これからどれだけやるのか個別に説明出来ない。

一、佐藤委員

合併後の地域審議会は、要望・建設計画が新市において速やかに実行されているか検証する会でもあると考えるが、合併して3年過ぎましたがそうした計画が、政策上実行されているか。また、これまでこの地域審議会です話合われたか。

一、加藤センター長

地域審議会は平成17年からこれまでやってきたのですが、市長の方から諮問した形をとって、それに答申していただいたという経緯です。新市の総

合計画を作成しましたが、その時に合併当初の建設計画を基にし、それに地域審議会の意見を反映し、更に経済状況を鑑みてどういう方向に行けばいいかと言うことで仙北市総合計画が出来ました。

一、佐藤委員

合併の意義は、根本は何かというと対等合併して財政状況の厳しい中で、これだけは合併後約束しましょうと各町村建設計画を出し、それを基にして仙北市総合計画を作成し、住民の最大限の要望等盛り込み住民の声を尊重したと思う。3年経過したがハード・ソフト面で何が実行されたか。

一、高橋企画政策課長

今日の審議会の開催にあたり、総合計画は18年12月に作成され、1年以上たっているのでその進捗状況をまとめて欲しいということで、私の方から説明したうえで西木地域としての個別課題は何かというところを、今日皆さんで相談していただいて、今後西木地域審議会が審議していく課題を見つけていただきたい。これから資料「仙北市総合計画」主要施策の取り組み状況を説明することにしておりますが、個別にクリオンのプール建設、総合グランド等については、この資料に上がってこないため説明できない。

一、佐藤委員

総体的なことではなく、実のある地域審議会にするには一つ一つ計画を具体的に上げて、政策に反映して貰わないと総体的なことではピンとこない。

一、武藤委員

前年度の審議会は定住人口3万人、観光客1000万人という課題を投げかけられ2班に分かれて審議し答申したが、今、佐藤委員から合併当時の事情を聞くと温度差を感じる。

一、鈴木（重）委員

まったくそのとおりで、二つの課題の答申でした。

一、小林（康）委員

地域審議会は市に対してどれ程の拘束力、影響力があるか何も解らず、ただ諮問された課題を漠然と審議してきたが、答申の結果を果たして市がどのように受け止めてどのように実行するか、見届けることも大事である。そうでないと話し合った意味がない。目標、目的をはっきり持って進めて、仕上げて行くことがなければなんら意味がない。市を如何に良くしていくかということについては、皆同じ気持ちでいるのでどれ程の影響力があるのか、上部組織として議会もあることですし、これでいいのか不安が無きにしもあらずです。

一、門脇（光）委員

今の議事、標題が「西木地域審議会で取り上げるべき課題」これを考えると佐藤委員が言った新市建設計画が地域審議会からまったく抜けて宙に浮いてしまう感じがして西木地域審議会の意味がないと思う。資料を見るとすべてのことを網羅していることが解る。西木の場合は、西木の課題について取り組まなければ西木地域審議会と言われたい。新市建設計画に西木で持ち込んだ事業で、合併前に先行投資して用地取得しているにもかかわらず、これを取り上げないのは腑に落ちない。

一、門脇（彰）会長

当局として審議会の性格ですが、合併後に地区で約束したことの検証の場ではなく合併後の地域格差を無くすことを目的とするものであり、検証するのは議会があるのではないかという声も聞こえてきています。前年度は当局からテーマを与えられて審議しこれに答申しています。今回は自分たちで地域の問題点をみつけそれをテーマにして審議するものです。前段からこの性格というものを解る必要があるのか。地域審議会とはどういうものか出来れば答えて欲しい。

一、加藤センター長

審議会の設置に関する事項に規定しているとおりです。後は市がどれだけ取り入れ、市行政に反映していくかということになると思う。内容としては規定してあります。17年当初の時点でどういう進め方をするかということ「市長が必要と認める事項」を基に諮問し、皆さんから意見をいただき市行政に反映して行きたいということで、進めてきたのが経緯です。20年はその形式を取らず、地域に実際あるところの課題を絞って、2年かけてご意見をいただきたいというところです。

一、佐藤委員

今日初めて資料を見たが、地域審議会の設置に関する目的がない。新市の建設の進捗状況に関する意見を出すようにとあるが、新市の総体的なことに関する審議ではなく、西木のことに関する審議をし公平公正な合併の行政をするための地域審議会という重要な会議であるべきだ。

一、門脇（彰）会長

ほかの委員さんはどうですか。委員に任命されたときは、単純に合併時約束したことが守られているか、それぞれの立場での意見を述べることだと思われたのではないか。検証と言葉に出さなくても、自然とそういう形で出てくるのではないか。

一、小林（康）委員

私のニュアンスとしては、市長が提示した課題に対して審議して答申するのがベストであり、それがこの会であると思っていた。今話された専門的な

事項については、我々が審議する何ものもないと思う。市長が提示したことについては、市民の代表の意見として述べればいいのではないかと感じてきたし、今回もそう思っている。これが市議員以上のことの議論をして結果を出すのであれば、私は遠慮させて貰う。センター長どうですか。

一、加藤センター長

前年のことは、憶測で話しますがご容赦ください。審議会の役割として市長が諮問したことに対して答えるということも審議会の条項の中にあるので、市としては合併してすぐなので、地域審議委員の皆さんから市を運営して行く上で、どんな課題があるか皆さんから意見を聞いて、市の総合発展計画・総合計画に活かして行きたいという思いがあったと思う。それで大きなテーマで一番重点目標にしているところを聞いたと思う。今回皆さんから地域の課題を取り上げて意見をいただくという方向でもって、どちらがいいか悪いかではなく、そういう選択で進んできたということで、ご理解いただければと思う。

一、澤山委員

最初の出発点は、各地域が平等にということの基本にあると思うが、佐藤委員が言われたように合併前の計画がどれくらい進んでるのか、現在の状況、また結果はどうであるか市民の知りたいところと思う。審議会で住民が何を望んでいるのか、西木の問題はこの方向でいくよというものを打ち出して進めていかなければならない。

一、加藤センター長

これまでのことを踏まえて、今後のことは先ほどまで言われたことを取り上げていくことにしたらどうでしょうか。

一、佐藤委員

市長に対して意見を述べる事が出来るとあるが、合併後いろいろ問題がある場合は地域審議会を通して市長に意見を出していくことが大事で、もっと身近な問題を取り上げていくことが大事である。合併して良かったと思うようにならないといけない。そのためにも合併前の建設計画がどれだけ進んでいるか具体的に確認しなければならない。

一、鈴木（定）委員

小学校の統合後の校舎の問題でも当初出ているはずですが、全然進んでいないので、また同じことを質問しなければならない。使用目的等統合時に課題を出しているのに答えがでないということは、現在の状況はどうなっているのか。西木の問題として取り上げていかなければならない。

一、小林（康）委員

前年まではテンミリオン計画を主体に話し合ってきたが、その中に校舎活

用の話しも出ました。大き過ぎるテーマを出されると、具体性に欠けて漠然としたものでした。また、地域審議会の答申に対する意見、結果も欲しい。

一、大澤委員

地域審議委員を引き受ける時に、前年までと違う委員ということでした。より多くの広く意見を反映するためと理解し、桧木内地区の問題、希望を述べるものと委員を承諾した。

一、鈴木（重）委員

前年までの地域審議会で小学校の廃校舎の利用について答申しておりますので、その後の進み具合を説明して貰うと前に進むと思う。

一、佐藤委員

審議会の設置に関する取り決めが1条から9条まであり、これに基づいて会を進めていくとこの地域の諸問題が審議され、その結果を市長に意見でき政策、実行に繋がると張り合いのある審議会になるので、まず身近な問題を取り上げて審議していくべきである。

一、高橋企画政策課長

だだいまのような地域審議会の役割は何かという話しが、田沢湖・角館地域審議会でもありました。今回は市長からの諮問ではなく、地域における課題を選んで審議をし市長に意見として提出する進め方であるが、ただとりまとめて提出にとどまるのかということもでました。地域審議会の目的がないということではありますが、市町村の合併特例に関する法律の中で、合併後に3地区の地域住民の声を市政に反映する目的のために設置したものです。地域審議会の役割を踏まえながら、西木地区の住民の満足度を向上させる視点からでもいいと思うので、審議する方向づけを決めていただきたい。

一、門脇（ト）委員

地域の会合などで出る身近な問題、地域に密着した課題を取り上げて進めていったらどうか。

10分休憩

一、門脇会長

1時間意見交換し、審議委員の役目、内容、目的などご理解いただいたと思う。西木地域の住民の声を反映させることをテーマにして進め、進め方として審議会の資料が出ておりますので、目次1～7章の中から取り上げて、選んだテーマについての今現在の進捗状況を当局から知らせて欲しい。

一、大澤委員

公共交通の利便性の充実ですが、内陸線の終列車の時間を30分遅らせるると高校生等利用者増になるのではないか。内陸線に要望して欲しい。

一、高橋企画政策課長

内陸線の乗車促進に取り組んでいるので、内陸線に話します。

一、鈴木（定）委員

上桧木内の三共の続きが事故が多く交通量も多い。ガードレールを設置するなど早く道路改善を要望する。また、上桧木内のソーラーの温度計は消えている時が多いので、改善を要望する。

一、中村委員

地域医療の問題ですが、合併したからと言う問題ではないが、角館病院の小児科外来が週1回が実状である。子どもを持つ親としては不安である。早急に改善対応して欲しい。また、ここにこ保育園ができましたが、幼保一体の話がありましたが、現在どういう状況になってるか。

一、加藤センタ長

次回まで調べて回答する。

一、武藤委員

最初のテーマが交流人口1000万人の目標を投げかけられたが、内陸線は決着がついたようですが、岩手観光が鷹巣駅まで来て内陸線を利用するなどしている。仙北市も内陸線の宣伝が必要である。特に春先と秋の紅葉時期は乗車率も良いようです。市の方でも人任せでなく先にたって汗をかいて貰いたい。

一、澤山委員

農業関係で上桧木内方面のかたが多いようですが、減反面積も大きく豆栽培はするが、刈り取りをしないで放棄している状態が多い。放棄地、荒れ地を如何に有効利用するかが問題であると思う。

一、小林（康）委員

企業誘致のことも18年に市長のところに陳情に行きました。3年経過したが進展なしです。また、地域医療についても、田沢湖は内陸線に協力的でないが、私たちは田沢湖病院が救急指定が外れたときは地域が廃ると文書で陳情してますが進展なしです。

一、佐藤委員

合併して旧西木村は少子高齢化が進んでいると思う。旧西木村のみならず仙北市で適齢期の若者が多くみられるが、できれば適齢期の男女が集う場を企画し、美郷町などと連携しながら地域にカップルが誕生するような環境づくりの政策を講じて欲しい。

一、大澤委員

消防について、火事の場合経費節減のため自分たちの担当地域以外は、出動命令が出るまで待機である。すぐ近くでも見ている状態なので、せめて西

木町内は西木の消防団が出動する体制に改善を要望する。

一、門脇（光）委員

スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備のところで、古堀田のグラウンド整備とクリオンの市民プールを入れて強力に要望したい。

一、高橋企画政策課長

古堀田の西明寺中学校の東側に総合グラウンドの用地として、旧西木村の時取得したと記憶している。合併後は中学校のグラウンド整備に実施計画上変更になっている。変更の経緯を把握していないので、整備の内容等確認して次回お話しする。

一、加藤センター長

クリオンプールにつきましては、昨年市民の方々と職員と検討委員会を開き答申をいただいたようです。今年市民福祉部が中心となって市長から精査するよとということなので2回ほど委員会を開いて現在進行中です。

一、佐藤委員

前に戻るようですが、建設計画で合併した翌年に実行しようということで約束して合併したので、検証しようというのはそういうことです。合併した時の一つの条件として、こういうことを各町村でやりますよと、それを尊重しますよとして、負担のかからない建設計画を立てましょうとお互い納得して、事業の開始年度まで決めて合併したのに投げやりになっているのはなぜか。合併の理念だったが。これはほんの一部である。

一、新山課長

議会の一般質問で同様な質問がありました。市長の答弁として合併協議により策定された新市建設計画の基本理念を継承しつつ、より発展的一体的な町づくりの指針としてつくられているとしています。

一、門脇（光）委員

現実的に3年経過して、当初に出した計画を放置し西木はいいじゃないかと追いやられているのでないかと住民は思っている。今現在の進捗状況を審議会では検証しながら審議委員は住民に報告する義務があると思う。今すぐやれではない。現在どうなっているか報告して欲しい。次回までお願いする。

一、門脇会長

インターネット等の情報通信について、地域センターと他の部署との連絡に時間がかかると住民の声があるが、どういうことか。

一、新山課長

実際問題として上桧木内の紙風船館で手続きをとる時、非常に長い時間かかっているのが現実です。光回線ははいつているがそれから取れない状態です。予算については、情報センターで合併時からどうにかして繋げたいと予

算計上しているが、緊急順位から外れている。上桧木内の方たちは慣れて待っていたが、普通の窓口ですと苦情のところです。

一、鈴木（重）委員

早い機会に解消して欲しい。

一、門脇（ト）委員

男女共同参画社会の実現について、現実には仙北市において出産によって会社を退職しなければならない人がいたとか、実際はどんな状況か。

一、高橋企画政策課長

出産等に伴う子育てだとかで会社をクビになったという話しはきいていない。子どもの病気などで休みを取るなどが続くとパート職の人たちは、どうしても働きにくい状況のようです。子育ての会の中で出た話しですが、そんなときに子どもを見てくれる人がいてくれたらと言う話しもでています。子どもが病気の時は、親を必要としているので会社側に理解と強力を求めるよう進めて行きたいと思っている。仙北市には男女共同参画推進委員会があり、企業を対象としたワークライフバランスの研修をしたり、市民向けの研修をするなど頑張ってもらっているが、目に見えるような形に進んでいない状況です。子育てしやすい環境整備を整えて行きたいと考えている。

一、門脇（彰）会長

ただいままで、地域審議会資料の目次に添って意見を出していただきましたが、復唱しながら確認していきます。**第1章中**・国道や県道、生活道路の整備・公共交通の利便性の充実・環境保護の推進、**第2章中**・地域医療、救急医療体制の整備・子育ての支援と保育体制の充実、**第3章中**・特色ある農業の振興・物産の開発と販売の促進、**第4章中**・消防体制の充実と消防団の育成強化、**第5章中**・幼児教育の充実と教育環境の整備・スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備、**第6章中**・インターネット等の情報通信基盤の整備について意見がでています。本テーマではないが、次回までこのことについて住民の声を聞いて来て欲しい。もちろん新しいテーマでもいいです。細かい部分で住民の声を取り上げて行きたいと思う。次回は2月中に開催することで本日の会議を閉じます。

(午後4時3分)